

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月2日
研究・研修課題名	静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士の資格取得のための研修会への参加、および「認定教育施設における研修」の受講
研究・研修組織名（所属）	栄養治療室
研究・研修責任者名（所属）	金山 友紀（栄養治療室）
研究・研修実施者名（所属）	金山 友紀（栄養治療室）

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果（ ）
該当者名（所属）	金山 友紀（栄養治療室）
学会名（会期・場所）、認定名等	① 静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士、②「栄養管理に係る所定の研修」の修了書
演題名・認証交付元等	日本栄養士会
取得日・認定期間等	① 2020年4月上旬発表予定、②2019.12.27受領
診療報酬加算の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有（ 栄養サポートチーム加算 ） <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士は、経腸栄養管理や静脈栄養管理を含めた総合的な栄養管理の実践力を付けることを目的に、研修プログラムを受講し、かつ試験に合格した者を（公社）日本栄養士会が認定している。また、本研修会に付随する「認定施設における研修」を併せて受講することで、厚生労働省が指定する栄養サポートチーム担当者に必要な所定の研修を修了した修了証が交付される。病棟での栄養管理業務では、栄養サポートチーム加算の実施などに鑑み、経口栄養管理だけでなく、経管栄養や静脈栄養など、すべての栄養補給法を考慮した栄養管理技術が求められている。資格取得、および所定の研修を通してその技術を習得し、より質の高い医療の提供に貢献することを目的とする。

②方法

公益社団法人 日本栄養士会が示す資格申請のための研修会・認定試験、および栄養管理に係る所定の研修は以下の通りである。

1. 静脈経腸栄養（TNT-D）研修会

- A日程：(1)経腸栄養管理の基礎：2019年6月1日（土）・2日（日）
(2)静脈栄養管理の基礎：2019年9月28日（土）・29日（日）
(3)静脈経腸栄養管理の応用：2019年12月7日（土）

2. 認定試験：2019年12月7日

栄養管理に係る所定の研修の修了要件

経腸栄養管理の基礎および静脈栄養管理の基礎研修を受講後、「認定教育施設における研修」16時間（約2日間）を受けること。

③成 果

静脈経腸栄養 (TNT-D) 研修会の具体的な研修内容を下記に示す。

(1) 経腸栄養管理の基礎 (6/1-6/2)

〈講義内容〉

- ① 水および電解質、②栄養介入の理論的根拠および適応、③栄養アセスメントおよび栄養不良リスクの検出、④入院患者の栄養不良、⑤経腸栄養経路、⑥経腸栄養投与法およびシステム、⑦経腸栄養における汚染予防、⑧経腸栄養製品、⑨栄養サポートにおける投与経路の変更、⑩合併症の予防と管理、⑪在宅栄養療法、⑫栄養介入の最適化について講義が行われた。

〈経腸栄養についてのワークショップ〉

スクリーニング、栄養アセスメント、経腸栄養のツール・システム、ケーススタディ1、ケーススタディ (合併症の管理) についてグループワークを行い、ケースについて意見交換を行った。

(2) 静脈栄養管理の基礎 (9/28-9/29)

〈医療における専門職業人としての倫理観や責任感を養う研修〉

医療者としての職業倫理、栄養サポートチームの目的と意義、栄養サポートにおけるディジーズマネジメントの概念について講義が行われた。

〈栄養サポートに必要な知識や技術を深める研修〉

静脈栄養法の特徴 (優位性・合併症を含む)、静脈栄養剤の基礎知識、経静脈栄養のプランニングとモニタリングの実際、栄養療法に関する問題点・リスクの抽出、栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応、経静脈栄養剤の投与システムの基礎 (側管投与法・薬剤配合変化を含む)、薬剤の簡易懸濁法の実施と有用性について講義が行われた。

〈栄養サポートチームの一員として業務を円滑に遂行できる能力を養う研修〉

栄養サポートチームが有効に機能するための基本的な考え方、事例に学ぶ、フードサービスとの連携について講義が行われた。

(3) 静脈経腸栄養管理の応用 (12/7)

〈ワークショップ〉

症例の栄養アセスメント・栄養ケア計画、モニタリングについてグループ討議後全体討議を行い、栄養管理計画やその方法についての提案や他施設でのNSTの取り組みなどの意見交換を行った。

「認定教育施設における研修」(11/19-11/20 岡山大学病院 臨床栄養部)

主な研修スケジュールを以下に示す。

1日目: NSTカンファレンス・回診への参加、症例レポート作成、NSTの組織・運営についての説明

2日目: NST回診への参加、スペシャルニーズ歯科診療の見学、症例検討

実施要領に基づき、①研修施設のNSTの理解、②NST運営状況の把握、③NSTに関する帳票類の把握、④スクリーニング基準の把握、⑤NSTチーム回診への参加、⑥NSTにおける管理栄養士の役割と業務、⑩NSTにおける情報処理とコミュニケーションツールについての解説を受け、NSTの活動についての知識、技術について学び、所定の研修内容を修了した。

静脈経腸栄養 (TNT-D) 管理栄養士の認定について、本研修の全日程を修了後、認定試験 (12/7 実施) を受験した。合格発表は4月上旬予定のため、可否の発表後報告する。

本研修に付随して「認定施設における研修」を終え、厚生労働省が指定する栄養サポートチーム担当者に必要な所定の研修を修了することが出来た。これにより栄養サポートチーム加算の要件となっている専従の資格を取得できた。今後院内での栄養サポートチーム活動において得られた知識・技術を活かし栄養管理の質の向上と充実に努めていきたい。